

『帰宅困難者支援施設運営ゲーム(KUG)』

大阪市 各事業所実施版

# 手引き編

～自社の従業員・来所者等の安全確保のために～

# 手引き編 目次

① プログラムについて

② 準備するもの

③ 準備物の配置イメージ

④ はじめましょう！

# ① プログラムについて

「大阪市 各事業所実施

版」

では次の①～⑤のワークを  
プログラムしています

- ワーク① 施設内の従業員等の安全確認
- ワーク② 体制の検討・確認
- ワーク③ 施設内の配置の検討・確認
- ワーク④ 待機方針の検討・確認
- ワーク⑤ 想定されるいろいろな課題の検討

## プログラムの組み立てについて

★標準プログラムはワーク①から⑤までの80分程度の組み立てになっています。

★各事業所の状況に応じて、プログラムを組み立てることも考えられます。

例1 待機方針等は決まっているが、施設内の配置の検討が十分でない場合  
ワーク③の検討を中心に、ワーク⑤の課題を検討して施設内の配置について  
計画を確定

例2 自社の計画をブラッシュアップするため、ワーク⑤の課題のみ実施

例3 実施できる時間が限られているので、ワーク⑤の課題（10の課題を想定）の  
うち3つの課題を選択して検討

など

～実施できる時間にあわせてプログラムを組み立てましょう～

## ② 準備するもの

- 「大阪市各事業所実施版」（PDF資料）  
を参加人数分印刷、またはファイルを共有
- 自社に施設内待機に関する計画等がある場合、  
その計画
- 自社の従業員等の名簿（災害時の安否確認用のものがある場合はその名簿）
- 自社の配置平面図（災害時の施設内待機に関するレイアウトが記入されている図面がある場合はその図面）
- 自社の備蓄物資の一覧
- （記録用）メモ用紙、筆記用具

※名簿、配置平面図等がない場合はキットを活用（次ページ参照）

# ※キットを使う場合

エクセルファイル 「●ゲームキット集」  
に次の順に各シートに入っています。

ゲームキット①

シート「①従業員等仮想名簿（50%出社）」

ゲームキット②

シート「②仮想平面図」

ゲームキット③

シート「③仮想待機方針」

ゲームキット④

シート「④仮想備蓄物資一覧」

★それぞれ印刷して使いましょう。①はデータ上で確認しながら行うことも考えられます。②は参加者と一緒に確認できるようなりできる限り大きく打ち出しましょう。エクセルファイルには、①から④のほかに、「イベント一覧」「対応記録用紙」も入れています。必要に応じて活用してください。

## (参考) 【キットの仮想会社の想定】

- \* 複数路線が乗り入れる「なんば駅」より徒歩1分に立地
- \* 制震構造の高層ビル(30階建)の高層階(27階)に入居
- \* 特に災害時の業務は発生しない。
- \* 役職員200名(役員、正社員、契約社員、派遣社員、パート従業員含む)、男性108名、女性92名
- \* 本社事業所の1フロアでの対応
- \* 安否確認システムを導入済み。従業員だけでなく、家族の安否も登録するよう、日ごろから繰り返し訓練を実施している。
- \* 従業員人数×3日分の水・食料・簡易トイレのほか、簡易組み立て式便座、エアーマットなどを多めに備蓄。一部をリュックサックに入れ、予め従業員に配布し、個人管理させている。

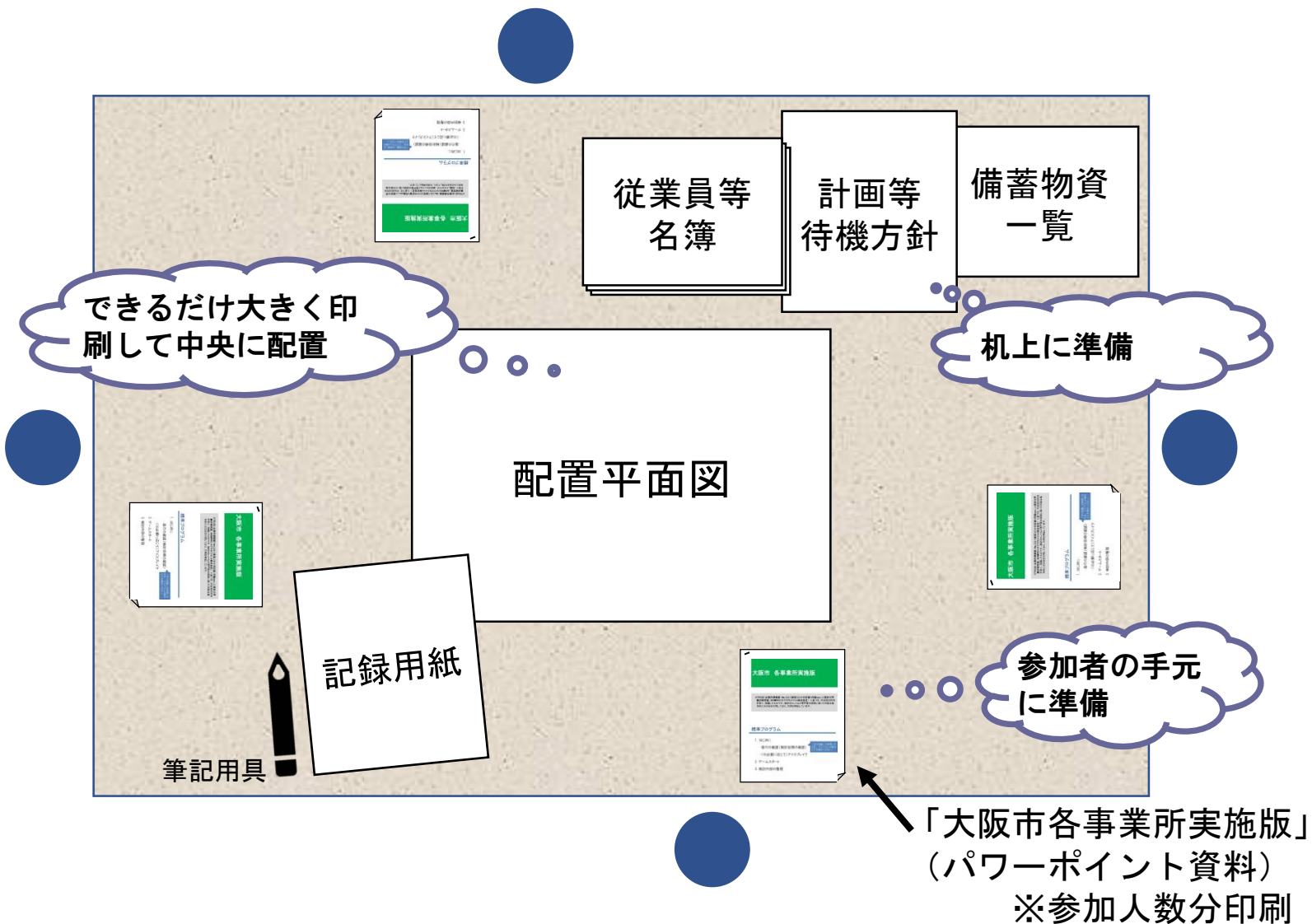
(参考) 【仮想会社の出社の想定】

## 新型コロナウイルス感染症の流行状況について

- 都市部を中心に、新型コロナウイルスへの感染者が微増傾向にある。
- 事業場においては、3つの「密」を避ける、手洗い・手指消毒の励行、各業界のガイドライン順守等、感染対策をしながらの営業継続が求められている。
- 仮想会社では、在宅勤務を推進し、本日の勤務状況は以下の通りである。

項目	想定
出社率	約50%
出社人数（在館）	計101名（男53名、女48名）
在宅勤務者	82名
外出者	10名
休暇・欠勤	7名
来所者等	6名

# ③ 準備物の配置イメージ





## ④ はじめましょう！

- 「大阪市 各事業所実施版」（PDF資料）

に沿って進めて いきましょう！

3ページめから「ゲームスタート」です。

- まずは、災害想定を確認します。

① 上町断層帯地震の場合の自社所在地の想定震度を5ページめの  に記入します。（※参考資料②参照）

② 6ページめの概略図に自社の位置を記入します。

- 組み立てたプログラムに応じて、資料に沿って「ワーク」をはじめましょう。